

自己評価票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者は認知症高齢者の法令を理解し、独自の理念を持ち一人一人がその人らしく生活できるよう職員にも、利用者、家族にも理念を生かしている。	○	理念に基づき利用者一人一人に対応し、よく理念を理解しているこのホームならではの理念である。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員はこのホームでの理念をよく理解しその人にあったケアをしている。	○	理念に基づき職員一人一人が入居者に対して、家族に対しても支援しています。ホームに掲示している。
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	パンフレットを配り、よくホームの事を理解して頂く。ホームの人達が地域で暮らせるよう支援している。	○	パンフレット配りをしてホームの考えをわかってもらえるよう努力している。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	庭や、ホームの表示等誰でも入れるようなホーム、立ち寄ってもらえるような環境づくり、又職員も声がけやあいさつをして分かって頂ける様努めている。	○	ホームの玄関も入りやすく近所の人にも散歩時声をかけている。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会、老人会、地域活動の場へパンフレットを配りホームの事を分かってもらえるよう努力し、公民館の活動も知らせていただき、参加出来る事は参加している。	○	地域の団体の活動に参加し、又パンフレットを配り理解して頂き交流を深めるよう今以上に努めたい。

グループホームいこいの里

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	皆で意見を出し合っているが、まとまらない。	○	もっと具体的に話し合い、地域の暮らしを知る事が必要である。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	常に職員及び管理者と話し合い意見を交換している。そしてホームの改善に努めている。	○	よく管理者と職員が話し合いよりよいホームにしようと考えている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2～3ヶ月に1回運営推進会議を設け意見交換している。	○	運営推進会議を持ち互いの意見を交換している。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	家族介護教室等出席しているが市の行事等又ホームでの行事も連絡しあってボランティア等もっと連絡密にやってゆきたいと思う。	○	なるべく市町村の連絡会行事等にももっと参加するよう努めたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員もちろん管理者は研修を受け必要な人には活用できるよう勉強しています。	○	研修を受け職員が理解できるよう勉強している。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待は色々ありますが、今このホームでは職員全体が学び防止に努めています。	○	言葉もそうですが、職員一人一人が注意し防止に努める。

グループホームいこいの里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>今までないが契約の時詳しく説明し、納得された上で印を押していただいている。</p>	○	<p>十分な説明をし理解してくれる。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者家人の意見を聞くようにしている。ノートも作成している。</p>	○	<p>利用者さんの意見をもっとお聞きして意見を反映させたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>利用者の健康状態、生活記録等定期的にお便りを出している。</p>	○	<p>生活ぶりや状況、健康状態等常もお便りを出している。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>現在意見、苦情ありませんがそれに対応する書類は作成してある。</p>	○	<p>定期的にアンケートを取ったらと思う。ノートは作成してあるが苦情はなし。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>1ヶ月1～2回のミーティングを持ちそれぞれの立場で意見を交換して職員の意見を聞くようにしている。</p>	○	<p>職員同士意見を言いあえる会を設けて意見を反映</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>管理者及び勤務表作成者に色々相談し職員同士はなし調整している。</p>	○	<p>勤務しやすいよう、状況に応じた勤務作りをしている。</p>

グループホームいこいの里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	職員の異動は利用者さんには言わない。
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	研修には職員の質の向上の為サービスケアの向上の為心がけて管理者、職員がとても研修には熱心である。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	同業者の人達、利用者同士交流を持ちサービス向上のため努めている。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	○	利用者さんと触れ合っているとストレスもありませんが、一日の流れの中行事等工夫してます。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	○	いつも勉強会をしている。

グループホームいこいの里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人の安心と関係づくりで一番大切な時期ですので家族の思いをよくお聞きし、本人の話をよく聞き本人を受け止めていくよう心がけている。	○  相談時から利用していただけるまでゆっくり本人とお話し信頼関係を作っている。
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	お話があった時家族の願いや本人の要望やお話をよくお聞きして、何がこの人には必要かを考え対応して(努力)しています。	○  家族の悩み不安に思っている事をよくお聞きしホームと家族信頼関係づくりをしている。
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族、本人の事情をよくお聞きし、ここでの出来る事はその人に対応して、わからない事は他のサービス等の力を借りその人にあつたケアをしています。	○  お話をよくお聞きし、その人に対応して行くには又、何を求めているのかを考え対応している。
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人がとまどうことなく生活できるようすぐサービスを始めるのではなく、ホームでの雰囲気、職員に馴染めるよう体験等して頂き工夫している。	○  本人が安心して生活できるようその場の雰囲気作りをだんだんと溶け込めるよう色々話し合いながらやっている。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホームでの理念の通り本人がその人らしく暮らせるよう職員と本人が共に支えあつた生活できるよう努力しているまた、生活している。	○  職員と利用者がいつも一緒に生活しながら支えあっている。

グループホームいこいの里

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員も家族の一員として生活し言葉がけも家族同様に話し楽しい事悲しい事も分け合っている。	○	私達職員はホームの職員ではなく、生活を伴にしている仲間として家族を支えています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	独り独りの生活歴をよく理解し本人や家族の接し方など支援し、心よく話しかけ対応、言葉がけも職員注意している。	○	利用者さんと家族の生活歴や、事情をよく理解してよりよい関係が続くよう努力している。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人が気楽に訪問できるよう訪問しやすい雰囲気、湯茶の接待、歓迎に努めている。	○	ご本人が今まで生活してきた馴染みの品物、人、場所の雰囲気作りをし、不安を取り除くよう注意している。
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	1人1人の利用者さんの特徴を把握し、いつも生活している者同志分かりあえるよう孤立する事ないようしている。	○	1人1人の生活が違ってきたので、その事を理解し、何をするにも利用者同志が関わり会えるよう考えて計画立て、やっている。
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了しても今までどうり相談ごとには応じ、親しく付き合うことにしている。	○	契約が終了しても、いつまでも家族だよと私達は思っているし、この関わり合いを大切にしています。

グループホームいこいの里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1ヵ月1回ミーティングを持ち居住者1人1人の介護計画や暮らしの反省要望を考えて日々勉強している。	○	利用者さんの思いを大切に、今まで暮らしてきた生活も考え計画を立て職員同士ミーティングを開き検討しています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居住者独り独りの生活歴をよく理解し、その人にとってどのような生活があっているか検討している。	○	独り独りの生活歴アセスメントをよく読みその人にあった暮らし方その人の性格を理解しサービスに努めている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1人1人の日常生活の在り方又過ごしている様子、体の事、精神的な事を考え支援している。	○	その人の今までの生活歴をよく理解し、現在の暮らし方をよく理解し、困った事等はミーティングを持ち1人1人にあった暮らしが出来るよう努めている。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画を職員の気がついた事や意見を取り入れ作成している。全ての職員が計画の内容を知っている。	○	職員が気づいた事を言いカンファレンスをしてその人らしい生活が出来るよう計画している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画を作成し、家族にも見てもらっていますが、変化が生じた場合は新たな計画を職員家族とも話して作成する。	○	計画を作成し、計画を本人家人に見てもらい、変化が生じた時はまた計画を作り家人に見てもらっている。

グループホームいこいの里

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1人1人の日常生活や介護計画を反映する為に計画の見直し、変化を具体的に記録している。	○	その人の生活を見て計画を立て気づいた事や職員1人1人の感じた事をまとめて計画を立てたり見直している。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の理念を生かし地域に密着した介護。常に利用者の事を考え支援して行く。	○	理念に基づき本人、家族、地域の人に接し話しをお聞きし対応している。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ホームとして出入り自由な雰囲気作り、地域の委員と連絡密にし、他の機関とも協力し合い、研修を持った利用者の為に支援している。	○	
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他の事業所のケアマネジャーや、サービス事業者と話し合い相談しながら必要に応じて利用者さんを支援している。	○	
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	利用者さんの生活に応じて説明しその人にとって良い事を考え常に連絡しあい相談してケアしている。	○	

グループホームいこいの里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	

グループホームいこいの里

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人の性格。人格を尊重し、話し合い家族とも十分な情報交換を行い本人の不安感を取り除くよう努めている。	○	よく家族、本人と話し合ってる。ダメージを防いでいます。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者1人1人を尊重し、整容着衣、食べこぼし、履物、髭剃り、トイレ、入浴等その人のプライドを大切にしている。	○	独り独りを尊重しプライバシーを損ねる行為や言動、対応等していないので、このまま続けるつもりです。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者1人1人の希望や思いを表せるよう、言葉かけ工夫、その人をよく観察し、その人らしい生活が出来るよう支援していく。	○	言葉かけを工夫しその人の生活を崩さないよう支援している。
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人のアセスメントに基づき、生活歴を把握し、その人の特徴や日々の生活を記録し、その人にとって住みやすい場所を提供するよう努めている。	○	その人らしさを尊重し、生活していただいているのでこのままでよい。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	洋服、下着は季節に合わせ声がけし、理容美容は職員の考えや本人の希望に合わせて支援している。	○	身だしなみは本人が出来る事はして頂き、出来ない所はホームですしている。

グループホームいこいの里

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>グループ食では食事の準備、片付けを皆で好きな献立作りをして楽しんでいる。常日頃も好きな物を取り入れて献立作りをしてきているが、テーブルの準備や片付けは一緒にしている。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>男性1人、女性5人ですが、酒、煙草は必要ないのですが、ジュース、ポカリスエット等やおやつも状況により対応しています。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>気持ちよく排泄してもらうようトイレも都合よく構造になっており、全ての人がトイレで気持ちよく排泄できるよう言葉がけもし、1人1人のパターンを把握して日々支援している。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>冬、夏と曜日が決まって週に2～3回くらいとなっておりますが、1人1人の生活によって(例えば失禁したり、汗ばんだり、いつでも入浴出来るようにしたいと検討しています。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>1人1人の安眠休息生活習慣を職員が理解しそれなりに対応している、あまりにリズムが狂っている時は、医師に相談して対応している。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>出来る事はやってもらい、レクリエーション、行事には参加してもらい生活の中の役割を持って一日を楽しく過ごしてもらっています。(例えば掃除ですが、モップ、掃除機、コロコロ、雑巾がけと役割がある)。</p>

グループホームいこいの里

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者が金銭管理できない時は家族と話しあい出納を明らかにし、金銭管理が出来る場合は必要に応じて使えるよう対応しています。	○	お金の大切さは皆知ってますが、買物ツアーみたいに、日用品、服等のお店へ行ってみたいと考えています。
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気が良ければ外の空気を吸いに散歩に行ったりしている。庭の草花の手入れもしています。	○	家人と外出したり趣味で外出する人もいます。必ず毎日散歩して外の空気を吸っています。
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族との外出は良い事ですが、皆さんの希望を聞き計画を立てて、遠出をしたり、普段いけない所へと行ってます。	○	行事計画に入れ皆さんの希望を聞き家人と出かける事はもちろんの事ですが、家人も含めて皆で買物や公園、行楽を楽しむよう考えてます。
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話でのやり取りは現在ありませんが手紙のやり取りは対応しています。	○	手紙、電話でのやり取りを希望すれば今までどおり対応して行くつもりです。また、レクレーションで絵手紙を皆さんで書いており、家族や、友人に送る支援をしています。これからも積極的にとりくみたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、友人、知人がいつでも気軽に訪問できる心地よい雰囲気作りをしている。	○	気軽に家人、友人、知人が訪問できるよう職員も心がけて、現在もよく見えてくれています。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が身体拘束を行わない事を認識しています。	○	現在は身体拘束は在りません。これからもありません。職員間で勉強会を行い身体拘束について学び、認識しています。

グループホームいこいの里

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>夜間だけ玄関の鍵はかけますが、居室の鍵を職員がかける事はありません。留守をする時は職員が1人残ります。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	<p>職員は入居者の所在を把握し、声をかけながら安全な生活を送れるよう心がけています。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	<p>薬、刃物等は保管場所を決め、危険を防いでいる。もしハサミ等レクリエーションで使う場合は職員が状況に応じて対応します。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<p>事故防止の知識、発生した時の対応の仕方等研修しています。事故発生した時は事故報告書を作り再発防止に取り組んでいます。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>入居者の急変や事故発生時の対応の仕方、応急手当等勉強していますが、常に対応の仕方を学びたいと思っています。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>地域の人達の協力が得られるよう日々連絡を密にし災害対策の訓練を身にしっかりつくよう勉強したい。地域の協力を得られるよう努めたいと思っている。</p>

グループホームいこいの里

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	体調や、状況を細かくご報告し起こり得るリスクの説明と、そのための対応などを説明し納得していただいている。またその事に関してご家族の不安をできるだけ軽減できるようご家族へのサポートもしている。	○	毎月の報告は欠かさずしております。入居者の状況に著しく変化がある場合には、その旨を早急にご連絡している。また、面会時以外にも時間を作り、いろいろな話し合いができればよい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝挨拶と共にバイタルを測定し、ご本人からも体調をお聞きしている。体調の良くない方には職員、調理へすぐに報告し対応出来ている。また、明らかに異常が見られる時は施設内の看護師または、協力医の指示を仰ぎ家族へ連絡もし対応している。	○	毎日2回の申し送りの時間をとり、職員間での報告、引継ぎが出来ている。また、そのときその時の職員間での伝達は十分に出来ている。
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1人1人服用している薬に関しては、医師や、薬局からの説明や、資料をもとにファイルを作成している。服薬担当の職員はもちろん、全員が把握し、学び理解している。現在薬は全てお預かりし、服用時にお渡ししている。ご利用者さんによっては薬を飲む直前に手掌へお渡ししたり間違いのないように服薬していただいています。	○	服薬チェック表を作成し記入している。薬が増えたり変更がある場合は、新たに資料を作成し、特に注意して確実に引継ぎをしている。情報の変化には気をつけており医師に相談をしている。
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便チェックや聞きとりから1人1人の便のリズムをつかんでいます。現在便の薬を常用されている方はおりませんが、食物繊維や、体操、水分補給など工夫して出来るだけ自然に排便が出来るよう支援しています。	○	職員での勉強会や、調理の方と相談して食事管理に気をつけています。
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1人1人に応じた口腔ケアをしている。自分で磨ける方も、磨けない方も、磨き方を指導しています。	○	歯科衛生士による指導や、マニュアルから口腔ケアを学んでいます。皆さんがいつまでも美味しく食事出来るようにと職員全員心がけています。
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員全員が1人1人の食事の量を把握しており、食べやすさ、栄養面にも気をつけて提供しています。食事の時以外では午前、午後のお茶の時間に水分を補給していただいています。また、入浴後や、お散歩の後、季節や状況に応じた水分確保に努めています。	○	栄養士が栄養バランスのとれた献立を立て、丁寧に調理し、満足していただける食事を心がけています。また、1人1人の好みに応じて薬味をご自分で足せるよう食卓に用意しています。

グループホームいこいの里

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に対する予防や対応のマニュアルがあり、全員が実行している。	○	職員同士勉強し研修もしている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒の予防の為調理道具の消毒、新鮮な食材の使用と管理をしている。	○	調理員はもちろんの事全員が衛生管理し、新鮮な食材の使用を考え努力している。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	違和感が感じられない玄関まわりに花、木を植え家庭的な雰囲気作りをしている。	○	草花、木を植え表札もつけ誰もが違和感なく入りやすい所を確保している。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活空間(トイレ、浴室、居間、台所、廊下、居室、居室、食堂)等調度や設備を整え家庭的な雰囲気です。	○	人が生活していく上に(玄関、浴室、トイレ、台所、廊下、食事の場所)必要な音、光心地よく考えている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビの前のソファ、テーブル、独りでも過ごせるよう家庭的で心地よく装飾も考えている。	○	独りになった時利用者同志の自由に過ごせる居場所は確保している。

グループホームいこいの里

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	入居者のお部屋は馴染みのタンス、ベッド、テレ ビ、時計等居心地よく生活できるよう心がけてい る。安心して生活できるよう支援している。	○	
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	気になる臭いや、部屋の空気の流れを把握し冷暖 房の温度調節に気をつけている。	○	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	入居者の身体機能に合わせて安全かつ自分で出来 る事はしていただく。	○	
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	1人1人の活動意欲をわかつような品物を用意し たり、その人のアセスメントに基づいて自立して 暮らせるよう支援している。	○	出来る事には手、口は極力出さず見守ったり一緒 に行うようにしている。
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	入居者、家族、友達、近隣の人々など誰でもが 入れるように草花を植え玄関には表札をかけた いる。	○	

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホームいこいの里

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎日のお散歩、それぞれの趣味や、ホーム内での仕事の役割分担に重きを置いています。又、絵手紙をボランティアの方に来ていただき教えていただいたり、ゲーム等毎日と違った事を行なう事で楽しく、生き生きと暮らせるよう支援しています。その人にあった支援をカンファレンスに基づき行なう事で、それぞれのペースで一日を送りながらもホームの皆と過ごす時間を大切にしています。1人1人が老いていく中で身体的、精神的に不自由になってもその人らしく生きがいのある生活を送れるよう見守り、支援しています。近隣には住宅が少なく地域との交流は少ないが、敷地内には介護支援センターいこいの里と宗教法人天理教飯田市分教会があり、その特色を生かし利用者同志の交流や、教会を訪れる方とのふれあい、また、小さな子供達の訪問など一日の中に変化があり活気のあるホームである。